

## コミュニティ

SOCIAL



## 地域社会との双方向で継続的な対話活動

## ▶ 方針・考え方

## ● 全体方針

関西電力グループは、地域や生活に密着した事業者として、事業活動に関わる地域社会の発展なくしては、自らの発展はありえない、という認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取組みを通じて、地域社会の発展に積極的に貢献します。

## ● 地域社会への積極的な情報発信と密接なコミュニケーション

地域社会のみなさまと「共に考え、共に未来を創る」という想いのもと、地域社会のみなさまとのコミュニケーションを密接にすることで、信頼関係を構築し、多岐にわたるご要望に対して、より積極的にお応えできるように努めています。

2020年4月の分社化後は、電力のレジリエンスの強化等に対する社会的要請の高まりを踏まえ、関西エリアにおいて面的に設備を所有し、引き続き長期に亘り地域に関わる関西電力送配電(株)を、関西電力グループと地域との窓口として体制整備をしました。今後とも、地域社会のみなさまと一層密接なコミュニケーションを推進し、地域社会の活性化と発展をめざしてまいります。

## ▶ 体制

## ● 地域対応体制

関西電力(株)：総務室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部

## ▶ 目標

## 地域社会との信頼関係の維持・構築

## ▶ 取組み

## ● 各種会議体参加等による積極的な情報交換

これまでから、各府県をはじめとした行政の会議体などに出席し、送配電事業や電気事業全般の理解活動などについてご説明するとともに、さまざまなご意見を頂戴するなどして、情報交換を実施しています。頂戴したご意見などを踏まえ、地域におけるエネルギーの諸課題の解決に向けて、積極的に協力しています。また近年、台風等自然災害の甚大化への対応が急務となる中、防災面でも各自治体との連携を強化しています。



行政事務局との情報交換

## ● 行政事務局との日常的なコミュニケーション

日ごろから行政の事務局と相互にコミュニケーションを実施し、ご質問やご要望に応じ勉強会や見学会を開催するなどして、丁寧にお応えしています。



関西電力送配電(株)社員による検電器を使用した説明



## 地域社会の発展に貢献する“地域エネルギー事業”の推進

### ▶ 方針・考え方

#### ● 地域の活性化に向けた取組み

お客さまや社会のみなさまからのエネルギーに関するニーズが多様化するなか、当社はこうしたニーズにしっかりと耳を傾け、地域のみなさまの良きパートナーとして、「共に考え、共に未来を創る」という想いをもちながら、地域活性化と持続的発展にむけた取組みを進めています。

### ▶ 体制

関西電力(株)：ソリューション本部

### ▶ 目標

ステークホルダーと連携した需要の維持・創造

### ▶ 取組み

#### ● 地域活性化への積極的な貢献と当社事業の成長にむけた取組み

当社グループは、お客さまや地域社会からの脱炭素、防災性向上、地域活性化に向けた期待に応えるため、自治体などの地域のみなさまと一緒にエネルギー利用の効率化をめざすスマートコミュニティづくりや再生可能エネルギーの開発に向けた取組みに積極的に参加しています。

関西地域はもちろん、関西以外の地域でも、エネルギー事業者として培ってきた知見を活かし、活動を展開しています。

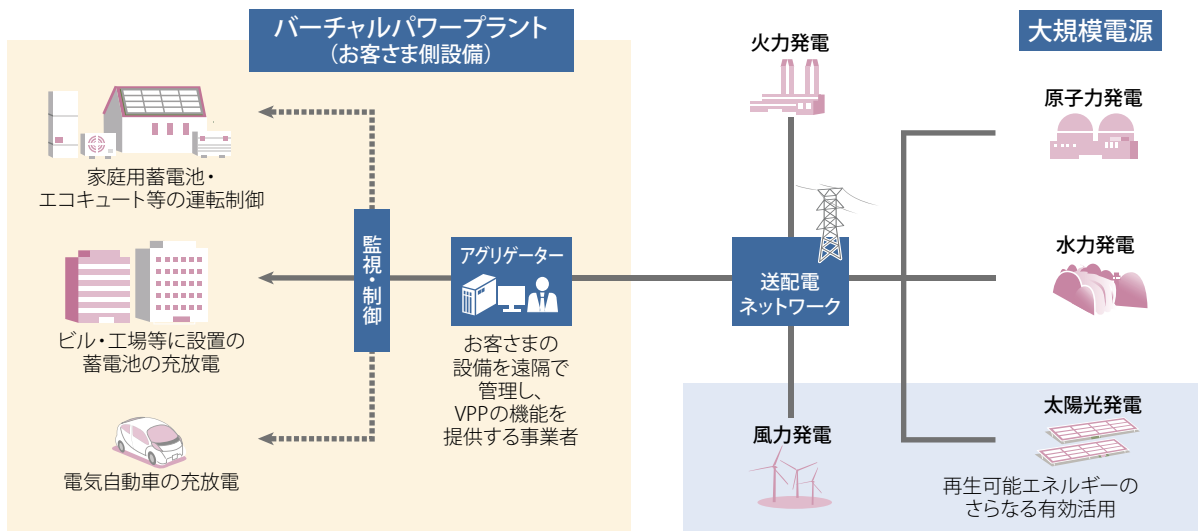
また最近では、エネルギー分野にとどまらず、モビリティをはじめさまざまな分野の課題解決を持続可能な形で実現するコミュニティづくりにも取り組んでいます。

当社は、今後もお客さまや地域の課題に応じたソリューションを組み合わせ、地域の発展とともにある関西電力グループとして「コミュニティ事業」に取り組んでまいります。

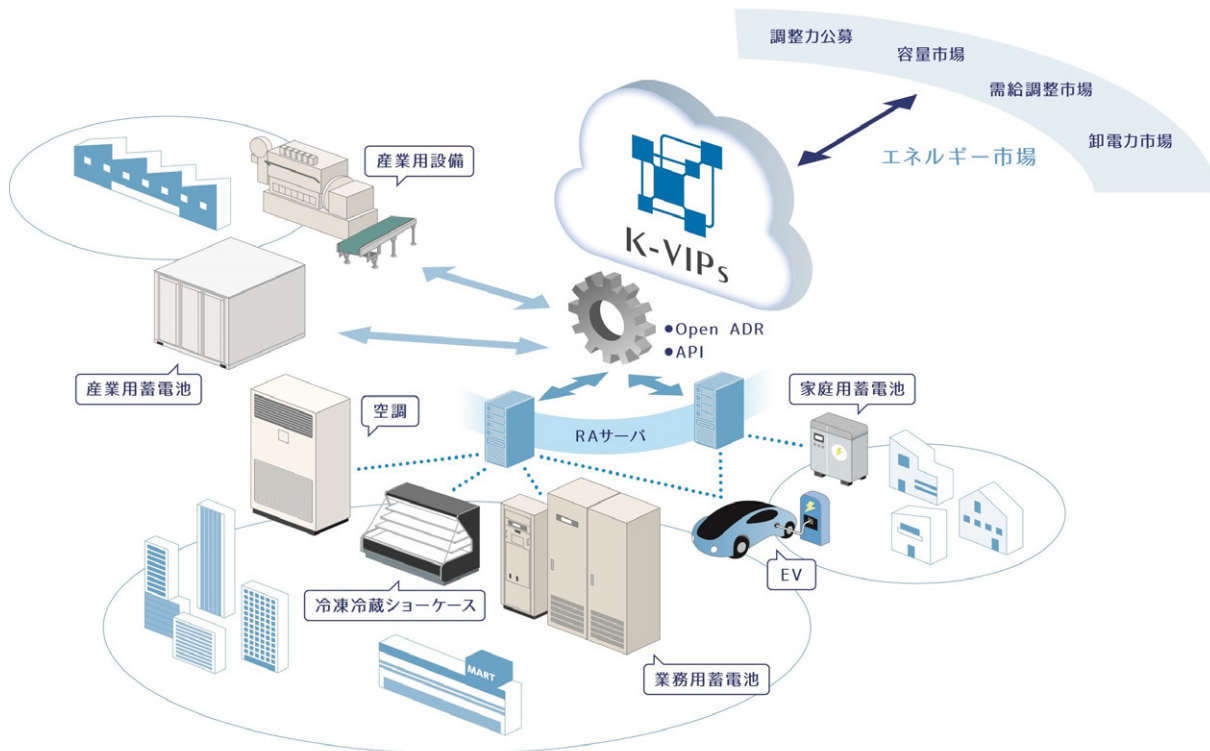
また、新たな技術への対応として、電力の需給バランスの調整方法として最近注目されているバーチャルパワープラント(VPP)\*に関する実証事業を進めるとともに、VPPによる需要家側リソースを用いた電力取引をサポートする統合プラットフォームシステム「K-VIPs」の運用も開始しています。本技術を活用し、系統安定化コストの低減を図り、再生可能エネルギーの導入拡大を支援し、地域全体のエネルギー管理の最適化にむけた取組みも加速していく予定です。

\*各所に分散しているリソース(蓄電池、電気自動車等)を、IoTを活用して遠隔で統制制御し、あたかも一つの発電所のように機能させること

#### ◆「バーチャルパワープラント」のイメージ



◆「K-VIPs」イメージ



●大阪都心部のまちづくり活動

当社は、大阪都心部などのまちづくりに、ハードとソフトの両面から貢献しています。その一つが、当社本店がある大阪・中之島での活動です。

中之島のさらなる発展、活性化をめざす「(一社)中之島まちみらい協議会」の事務局として区内の地権者企業や自治体などとともに、「中之島地域戦略プラン」の策定や実現に向けて取り組んでおり、河川水を利用した地域冷暖房システムの導入など、環境に配慮したまちづくりにも貢献しています。また、「光のまちづくり推進委員会」の事務局として、夜間景観の形成・維持に取り組むなど、中之島エリアの魅力向上のための取組みも行っています。

さらに、2025年大阪・関西万博の開催が予定される夢洲でも、地元企業として自治体をはじめとする地域のみなさまや経済団体と連携しながら、まちづくりに貢献してまいります。

大阪都心部のまちづくり活動事例

**中之島エリアにおける河川水を利用した地域冷暖房システム**  
 中之島2・3丁目エリアでは、河川水利用による地域冷暖房システムを活用した地域一帯でのエネルギーマネジメントを導入しています。この地域冷暖房は周辺開発に合わせてそのエリアを拡大しつつあり、2022年2月に4丁目で開館した大阪中之島美術館にも導入されています。なお、本事業では大阪市、当社、(株) 関電エネルギーソリューションの共同申請により、国土交通省の「サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)」に採択されました。今後予定される中之島周辺開発においても、当社グループは引き続き、省CO<sub>2</sub>に積極的に取り組むとともに、環境に配慮したまちづくりを通じて地域社会の発展に貢献してまいります。



## 地域・コミュニティとの共生

### ▶ 方針・考え方

#### ● 地域・コミュニティとの共生に向けた活動の実施

当社グループの事業活動や企業市民としての活動などの社会貢献活動を通して、社会課題の解決や地域の活性化に貢献します。

### ▶ 体制

関西電力(株)：広報室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部

### ▶ 目標

地域・コミュニティとの共生に向けた積極的な貢献

### ▶ 取組み

#### ● 文化財などの電気設備点検

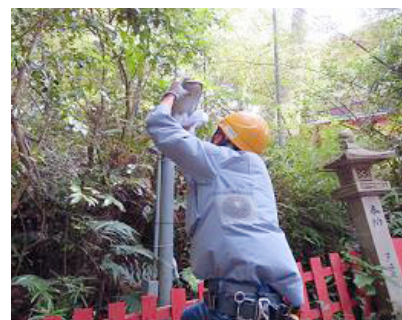
消防署と連携した寺社などの文化財の電気設備点検、地域に根ざした伝統文化や地域行事に協力しているほか、地域のみなさまと連携した美化活動等に取り組んでいます。



東寺での照明設備の清掃



書寫山 圓教寺での電気設備点検



紀州東照宮での電気設備診断

#### ● 災害復旧に向けた取組み

台風等による非常災害時には、早期復旧に向けた現場対応や関係自治体等との連携、供給管外への応援派遣など、供給管内・管外問わず、当社グループ一丸となって電力の安全・安定供給のために取り組んでいます。



倒木により断線した電線の復旧



災害時に備えた復旧作業訓練



### ● グローバルな社会課題の解決への貢献

アフリカ未電化地域において、WASSHA株式会社との業務提携によるLEDランタンのレンタルサービスの展開や、株式会社シュクルキューブジャパンとの電力・通信網の構築に向けた取組みなど、グローバルな社会課題・ニーズを踏まえた新たな価値の提供に努めています。



ランタンを使用するアフリカの子供たち



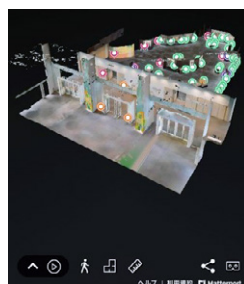
独立行政法人国際協力機構 (JICA) の配電網整備研修の様子

### ● 社会福祉への取組み

障がいのある方々にアートの創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただき、また作品をご覧いただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただくことを目的に、2001年から「かんでんコラボ・アート」を開催しています。受賞作品などは展示会やホームページを通じて紹介しています。



公開展示会 (堂島リバーフォーラム)



Web展示会



### ● 芸術・文化活動、次世代育成支援

絵画美術展の開催やキッズニア甲子園への電力会社パビリオンの出展など、地域文化の振興や次世代育成に取り組んでいます。



美浜美術展



キッズニア甲子園 電力会社パビリオン

### ● 発電所立地地域との共存共栄

当社は地域社会の一員として、発電所立地地域における地域経済の活性化やまちづくり検討、地域行事の運営等に協力し、地域社会への貢献、活性化の取組みを地域のみならずとも進めています。



地域清掃活動



複合施設での行事運営

### ● 社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員の自発的な活動を支援するため、ボランティア休暇制度などを設けています。また、社内ポータルサイトにある「社会貢献サイト」では、ボランティア情報や各事業所での活動事例などを発信しています。



## 社内外との積極的なコミュニケーション

### ▶ 方針・考え方

#### ● 広報・広聴活動を通じた社内外とのコミュニケーション

広報・広聴活動を通して、ステークホルダーのみなさまに適切に情報発信を行い、当社グループ事業にご理解をいただくとともに、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させるという双方向のコミュニケーションを心がけ、信頼を賜ることができるよう努めています。

また、このような活動を通じて、当社グループ事業への理解獲得を図るとともに、ブランドステートメント「power with heart」に込めた想いのもと、透明性の高い開かれた事業活動を展開していきます。

### ▶ 体制

関西電力（株）：広報室

関西電力送配電（株）：地域コミュニケーション部



### ▶ 目標

お客さまや社会のみなさま、従業員とのエンゲージメント強化につながる一歩進んだコミュニケーションで円滑な事業活動と中長期的な成長を後押しする。



## ▶ 取組み

### ●ステークホルダーへの情報開示の充実

株主をはじめとしたステークホルダーに向けて、有価証券報告書やコーポレートガバナンス報告書、統合報告書等にて会社の財務状態・経営成績等の財務情報や、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスにかかわる非財務情報等について、積極的に開示を行っています。その際、会社法等の法令で定められる内容のみならず、株主をはじめとするステークホルダーとの対話に有用と考えられる情報については、正確かつ具体的な内容で開示するなど、付加価値の高い説明となるよう努めています。

また海外投資家に向けての情報提供として必要に応じて英語版の媒体を作成しています。

当社グループは、株主・投資家との建設的な対話を促進し、法令遵守をはじめとする当社グループの基本姿勢や中期経営計画等をはじめとする経営の基本方針についてのご理解を得るとともに、いただいた建設的な意見を経営に反映することで、ステークホルダーからの信頼を回復したうえで、長期に亘り確固たる信頼関係を築いていきます。

### ●報道機関への対応

テレビや新聞が報じる情報は、お客さまの当社グループに対するご理解やイメージに大きく影響することから、より正確な情報発信が必要となります。そのため、社長会見をはじめ、報道機関への情報発信を積極的に実施するとともに、報道機関からの取材にも迅速かつ的確に対応することで、当社グループ事業への理解促進を図っています。また、コロナ禍においても、報道機関に対してリモートで社長会見を実施するなど、情報発信の頻度を落とさないよう工夫しています。

### ●メディアを活用した情報発信

ブランドステートメント「power with heart」に関する取組みをはじめ、当社グループの事業活動に関する情報をお客さまや社会のみなさまにわかりやすくお伝えするため、さまざまなメディアを活用しています。

テレビCMや新聞広告、そしてホームページやWEBマガジン、SNSや広報誌などのツールを用いてより多くのお客さまとのコミュニケーションを活性化させることで、当社グループ事業への理解・信頼獲得を図っています。

#### ◆テレビCM・新聞広告による情報発信

映像や音楽で分かりやすく情報をお伝えできるテレビCMや、比較的多くの情報をじっくりとご覧いただける新聞広告など、それぞれの媒体が持つ特性を活かして、当社グループの取組みを発信しています。



当社テレビCMより

#### ◆ホームページによる情報発信

エネルギーの安全・安定供給やサステナビリティ (ESG) の取り組み、IR、採用活動などの企業活動に関する情報を掲載しています。お客さまにとってより見やすく分かりやすいホームページをめざし、バナーによる画像リンクを積極的に採用するなど、視聴者視線を徹底し、より見やすいグラフィカルな導線に見直すなど、継続的な工夫・改善を図っています。



当社ホームページより



当社ホームページより

#### ◆WEBマガジン「WITH YOU」による情報発信

ご覧いただいたお客さまの生活がより楽しく、明るいものになっていただきたいという想いを込めて、2022年3月に



WITH YOUより



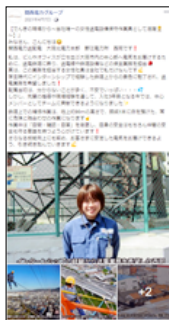
WITH YOUより

「WITH YOU」を開設しました。お客さまや社会のみなさまの「知りたい!」、当社の「知ってほしい!」、ちょっとマニアックでホットな情報を、3つのコンテンツを通じてお届けしています。



◆SNSによる情報発信

当社グループ事業に共感していただくことをめざし、ソーシャルメディアを活用しています。Facebook、Twitterでは、動画を活用しながら働く従業員の姿にフォーカスを当てた投稿を行うと共に、双方向コミュニケーションを実施しています。Twitterではそれに加えて、災害時のコミュニケーションツールとして、災害等発生時に迅速に情報を発信しています。また、Instagramでは、「灯り」や「あたたかみ」をテーマとし、関西地域の美しい風景を紹介しています。



当社グループ Facebookより



当社グループTwitterより



当社Instagramより

◆Web動画の公開による情報発信

エネルギーミックスやゼロカーボン社会の実現についての理解を深めていただけるよう、テレビCMと連動したWeb動画や、人気YouTuberとのタイアップ動画を公開しています。



「はなおでんがん」さんとのタイアップ動画

◆広報誌「YOU'S」による情報発信

当社グループ事業についての理解を深めていただくことをめざし、広報誌「YOU'S」を発刊しています。お客さまや社会のみなさまの関心事をテーマとして取り上げながら、当社グループとみなさまを繋ぎ、面白くて役立つ情報をお届けしています。また、当社ホームページ内には『YOU'S』専用ページを開設し、WEB限定記事も公開しています。



YOU'Sより

●ファンベース取組み

当社グループは、これまで以上にお客さまとのコミュニケーションを大切に、共感をいただきながら、共に成長していくことで、もっと良い未来を創っていきたいと考え、2021年度から「かんでんファンベースプロジェクト」を立ち上げ、活動を開始しています。今後も、「かんでんファンミーティング」など、ファンのみなさまと交流できる機会やイベントを企画し、「ファンベース」を展開していきます。

●エネルギーに関する理解活動

企業・団体向けの出前説明会や、小・中学校などを対象とした出前教室を実施しています。エネルギーに関する実験やVRを用いた発電所の疑似見学体験を行うなど、より深く理解いただく工夫を凝らしています。また、より多くの方に原子力を知ってもらうため、参加者と原子力発電所をオンラインでつなぎ、普段見ることができない発電所内部の見学や所員とコミュニケーションを行うなど、参加者が現地に行かなくても実際に見学に行ったかのような体験ができるオンライン見学会を実施しています。



出前教室



オンライン見学会





## ● インターナルコミュニケーションの活性化

従業員のエンゲージメント向上を目的に、経営層と従業員、従業員間の双方向コミュニケーションを深める取組みを実施しています。経営層と従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイトおよびグループポータルサイト上に、経営層からのメッセージを掲載し、従業員が自由にコメントできるようにしています。従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイト上に、従業員が気軽に投稿できるコンテンツを開発したことに加え、従業員から希望者を募り、部門を横断した社内広報検討タスクフォースを組成し、新たな社内広報施策について議論・考案する等、共創を意識した取組みを展開しています。

また、社内情報発信においては、経営理念や中期経営計画の取組みをはじめとした経営上の重要事項や、当社グループの事業に関する情報、各職場や従業員の取組みなどを、社内報や社内ポータルサイトを通じて、適時情報発信しています。

上記取組みに加えて、お客さまや社会のみならずにも当社グループの想いや取組みを知っていただくため、社内報「関電新聞」をホームページにも掲載し、より透明性の高い情報開示に努めています。



経営層からのメッセージ



関電新聞 (2022年6月号)

## ● 社会のみなさまの声を事業活動に反映

当社グループは、ステークホルダーのみなさまからの声に耳を傾け、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、信頼を賜ることができるよう努めています。

## ● 関連データ

	2020/6	2021/6	2022/6
構想が実現したサステナブルコミュニティの累計件数	10件	11件	15件

	2020/3	2021/3	2022/3
自治体へのご理解促進活動	約5,100回	約5,200回	約4,000回
ボランティア休暇取得	87件 (201日)	26件 (50日)	39件 (63日)
社会貢献活動回数 (出前教室含む)	1044回	467回	836回
社会貢献活動額 <sup>※1 ※2</sup>	516百万円	1,615百万円	2,052百万円
うち寄付金額	468百万円	1,292百万円	209百万円

※1 2020年度実績より事業活動を通じた社会貢献活動額も一部計上 ※2 2021年度実績より社会貢献活動に係る人件費も一部計上

